

平成27年度行政事業レビューシート

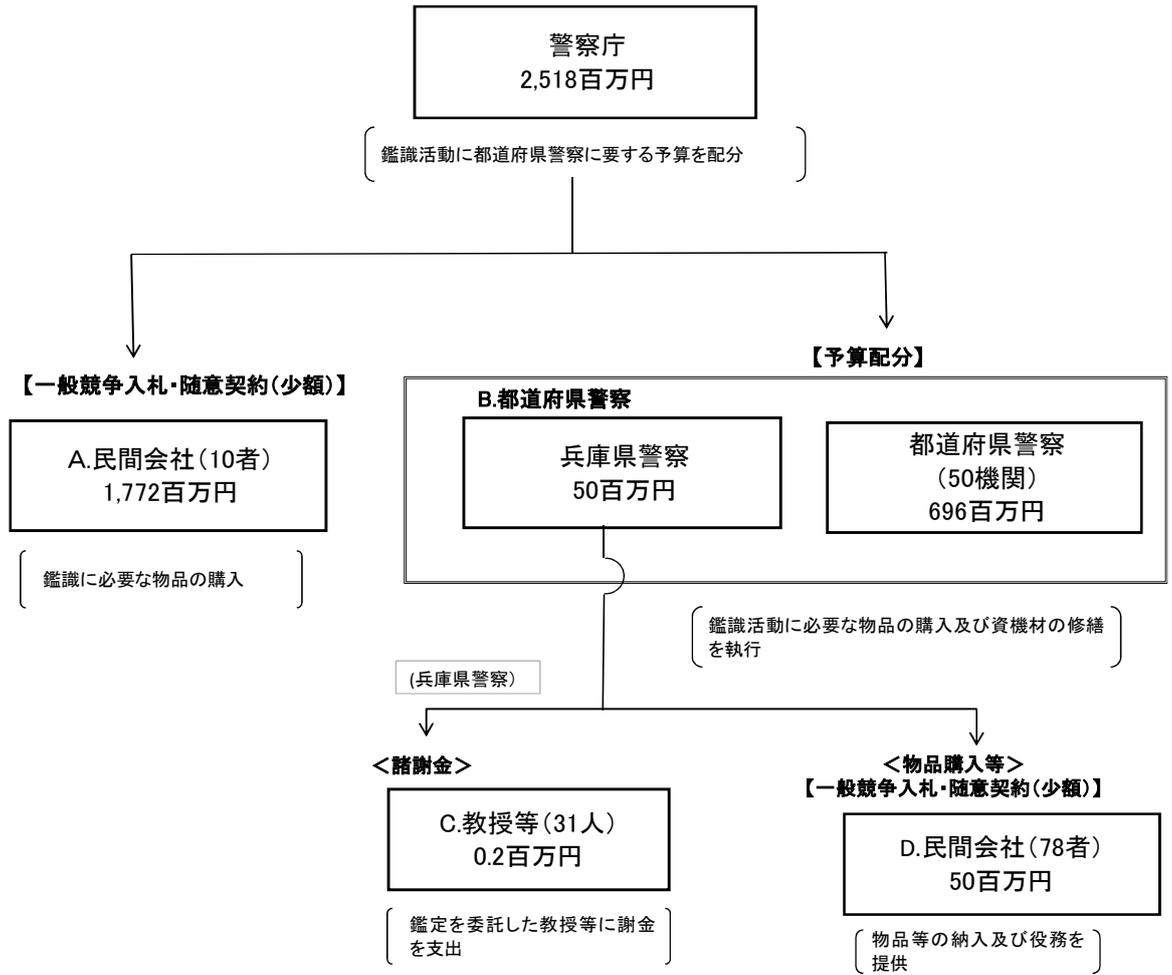
警察庁

事業名		鑑識に必要な物品購入等		担当部局庁	刑事局			作成責任者
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	犯罪鑑識官		犯罪鑑識官 真家 悟	
会計区分	一般会計			政策・施策名	犯罪捜査の的確な推進 1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上			
根拠法令(具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	全国的に一定水準の科学捜査力を確保するため、鑑定・鑑識業務に必要な装備資機材の整備を強化する。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	捜査を取り巻く環境の悪化、裁判員制度の導入等により、従来にも増して客観的証拠の活用が必要とされる中で、複雑・多様化した犯罪情勢に対処していくためには、鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることが重要である。このため、鑑識・鑑定業務に支障を来すことがないよう、科学捜査力を強化する。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	1,164	2,043	881	877		
		補正予算	3,251	4,017	1,464			
		前年度から繰越し	0	3,235	1,769	1,183		
		翌年度へ繰越し	▲ 3,235	▲ 1,769	▲ 1,183			
		予備費等	0	0	0			
	計	1,180	7,526	2,931	2,060	0		
	執行額	1,061	5,142	2,518				
執行率(%)	90%	68%	86%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績				
	犯行を立証する有力な客観性の高い科学的証拠の収集・確保を目的とした事業であるため、定量的な目標の設定は困難。	(成果目標)科学捜査力の強化(達成状況)各都道府県警察における鑑定・鑑識資機材を充実させ、迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映することにより、科学捜査力の強化に寄与している。						
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	重要犯罪の検挙の促進	(参考指標)重要犯罪の検挙件数	実績	件	9,487	9,255	9,579	
			目標値	件	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
被疑者指紋登録件数(再犯を除く)	活動実績	件	194,311	177,742	157,813			
	当初見込み	-	-	-	-			
単位当たりコスト	年間執行額/年度	単位当たりコスト	千円	1,061,304	5,142,418	2,517,458	-	
		計算式	執行額/年度	1,061,304/1	5,142,418/1	2,517,458/1	-	

平成27年度 算内訳 (単位:百万 円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	諸謝金	16		
	物品購入等	861		
	計	877	0	

事業所管部局による点検・改善					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	客観性の高い科学的証拠の収集・確保は広く国民から期待されている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	法令に基づき国庫支弁としている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	犯罪の確実な立証を図る上で不可欠なものである。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に留意している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	鑑識・鑑定業務を行う上で必要な金額を支出している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に留意している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	鑑識・鑑定業務に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	一般競争入札を行い、競争性の確保、コスト削減等に留意している。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	犯罪の確実な立証を図る上で最適な手段・方法により実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	犯罪の立証に活用している。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	都道府県警察に予算配分している消耗品等については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているので、支出先・用途については把握している。			
	改善の方向性	本経費については、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、客観的証拠の活用のため引き続き実施する必要がある。契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	当初17-3	平成23年度	66	平成24年度	51
平成25年度	23	平成26年度	24		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入	鑑識活動に必要な物品購入等	809			
計		809	計		0
B.兵庫県警察			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配分	鑑識活動に必要な物品購入等	50			
計		50	計		0
C.教授等			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	鑑定に関する経費	0.2			
計		0.2	計		0
D.富士フィルムイメージングシステムズ株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	写真自動現像機の修理	7.3			
計		7.3	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社池田理化	ガスクロマトグラフタンデム質量分析装置の購入	509	3	-
2	株式会社池田理化	多機能ガスクロマトグラフの購入	256	4	-
3	株式会社池田理化	生物顕微鏡の購入	42	4	-
4	株式会社池田理化	鑑定用標準品保管庫の購入	1.4	随意契約	-
5	株式会社池田理化	薬品保管庫の購入	1	随意契約	-
6	ユニアデックス株式会社	ライプスキヤナの購入	320	2	-
7	加賀ソルネット株式会社	工学映像鑑定解析装置の購入	281	随意契約	-
8	株式会社データ・デザイン	可搬型三次元画像解析装置の購入	112	1	-
9	株式会社リガク	蛍光X線分析装置(波長分散型)の購入	111	1	-
10	日本電気株式会社 官公庁口	顔画像識別システムの購入	53	1	-
11	ティアック株式会社	ポリグラフ検査用呼吸測定装置の購入	39	随意契約	-
12	株式会社島津製作所東京支社	微小硬度計の購入	35	2	-
13	西進商事株式会社	指定薬物の標準品の購入	10	2	-
14	箕面電設株式会社	インターフォンの購入	0.1	随意契約	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兵庫県警察	予算配分	50	-	-
2	大阪府警察	予算配分	44	-	-
3	福岡県警察	予算配分	43	-	-
4	警視庁	予算配分	38	-	-
5	北海道警察	予算配分	34	-	-
6	神奈川県警察	予算配分	33	-	-
7	埼玉県警察	予算配分	28	-	-
8	鹿児島県警察	予算配分	24	-	-
9	千葉県警察	予算配分	21	-	-
10	広島県警察	予算配分	18	-	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	教授等	鑑定に必要な経費(延べ31人)	0.2	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士フイルムイメージングシステムズ株式会社	写真自動現像機の修理	7.3	1	-
2	株式会社ナニワ商会	コピーランプほかの購入	4.1	3	-
3	株式会社ビー・エス・インダストリー	指紋採取紙ほかの購入	3.2	1	-
4	広瀬化学薬品株式会社	薬毒物検査試薬ほかの購入	1.1	随意契約	-
5	広瀬化学薬品株式会社	OC-ヘモキャッチャーほかの購入	0.6	随意契約	-
6	広瀬化学薬品株式会社	標準血球の購入	0.4	随意契約	-
7	広瀬化学薬品株式会社	インスタントビューの購入	0.3	随意契約	-
8	広瀬化学薬品株式会社	ProteinaseKの購入	0.2	随意契約	-

9	広瀬化学薬品株式会社	ユトラップの購入	0.2	随意契約	-
10	広瀬化学薬品株式会社	DS-33ほかの購入	0.2	随意契約	-
11	広瀬化学薬品株式会社	体液識別システムの修理	0.1	随意契約	-
12	株式会社スミロン	NEO足跡プロシートほかの購入	3	随意契約	-
13	宮野医療器株式会社	インスタントビューほかの購入	1.3	随意契約	-
14	宮野医療器株式会社	トライエージの購入	0.6	随意契約	-
15	宮野医療器株式会社	フーリエ変換赤外分光装置の修理	0.4	随意契約	-
16	宮野医療器株式会社	薬毒物検査器具ほかの購入	0.3	随意契約	-
17	宮野医療器株式会社	体液識別システムの修理	0.2	随意契約	-
18	宮野医療器株式会社	フィルターチップの購入	0.2	随意契約	-
19	宮野医療器株式会社	加温振とう装置の修理	0.1	随意契約	-
20	株式会社池田理化	Simpdoc保守委託等	2	随意契約	-
21	株式会社池田理化	ユニバーサルバンチャーの修理	0.3	随意契約	-
22	株式会社池田理化	プリンタラベルの購入	0.1	随意契約	-
23	公益財団法人 高輝度光科学研究センター	ビーム使用料	2.2	随意契約	-
24	株式会社科学装備研究所	靴カバーほかの購入	1.7	随意契約	-
25	株式会社白井商会	フィルムほかの購入	1.5	随意契約	-
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載				<input type="checkbox"/> チェック	